

登録コード	MA740300	開講年度	2026			
授業科目名	地域・国際看護学演習 I					担当教員 五十嵐 久人 他
英文授業名	Practice in Community Health Nursing and International Health Nursing I					副担当
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	月曜・1時限 月曜・6時限	対象専攻/学年 地域・国際・精神看護学領域/1年次
講義室			授業形態	演習	授業科目区分	選択科目
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標	【ディプロマ・ポリシー】授業で得られる「学位授与の方針」要素 ⇄ MS26カリ(保健学), MS25カリ(保健学), MS24カリ(保健学), MS23カリ(保健学)					
	【研究科共通】医学系諸科学における学識と情報収集能力・分析能力、研究技術を備えており、共同もしくは単独で、それぞれの分野における諸課題を解決できる。				⇄	地域看護・国際看護における調査手法および先行研究のクリティックの意義と方法の理解できる。
	【保健学】高い倫理観と専門的知識や技術、科学的根拠に基づく臨床問題解決能力などの高度な実践能力を有する。				⇄	研究デザイン、分析方法の理解し、研究計画に応用できる。
(2)授業の概要	地域看護・国際看護に関する先行研究論文から、様々な研究課題、調査方法等を論ずる。 本授業は担当教員の地域や国際の保健活動における地域保健専門職としての実務経験を活かして講義を行います。					
(3)達成目標（一般学習目標G I O）	公衆衛生看護における研究テーマに関する研究論文から、様々な研究課題やデザイン、倫理的課題を評価する能力を養う。					
(4)達成目標（個別行動目標S B O s）	1. 国内外の公衆衛生看護領域の文献を収集できる。 2. 国内外の公衆衛生看護領域の研究論文をレビューし、クリティックすることができる。 3. 自己が取り組む研究課題を明確にできる。					
(5)授業計画	実施日時については、学生と相談のうえで決定します。 第1回 オリエンテーション 第2～4回 公衆衛生看護学領域における研究の最近の動向 第5～7回 公衆衛生看護学領域で用いられている研究方法 第8～10回 自身が関心をもつ領域・分野における研究課題 第11～14回 自身の研究課題と研究デザインの検討 第15回 まとめ 授業アンケート					
(6)授業の進め方	毎回、受講生が予習した内容をプレゼンテーションし、その後に受講生と教員とでディスカッションする形式で進めていきます。					
(7)履修上の注意・事前事後学習の内容	【事前学習】 プレゼンテーション・ディスカッション中心に進めるので自主的に文献検索を行い、プレゼンテーション資料の作成、話し合いの資料やテーマの準備をしてください。 【事後学習】 授業やディスカッションを通して不明な点や理解が不十分であった点を調べ、解決できるようにしてください。					
(8)成績評価の方法	毎回のプレゼンテーションの内容85%、ディスカッションへの参加度・貢献度15%で評価します。					
(9)成績評価の基準	成績評価の方法の合計点にもとづき、判定基準は、90-100点(秀)、80-89点(優)、70-79点(良)、60-69点(可)、60点未満(不可)とします。 プレゼンテーションについて ①内容の論理性と一貫性(15点)：リサーチ・クエスチョンが明確に示されている、主張に対して、適切な先行研究やデータ、一次資料が引用されている、序論・本論・結論の流れに矛盾がなく、説得力がある。 ②資料(スライド・レジュメ)の質(15点)：文字が詰め込まれすぎでならず、図表が効果的に活用されている、見出しや箇条書きを使い、一目で構造が理解できる構成、引用元や参考文献リストが学術的ルールに則っている。 ③話し方・態度(15点)：決められた時間を有効に利用しているか、単なる原稿の朗読ではなく、聴衆を意識したスピードとトーンで話せているか。 ④質疑応答への対応(15点)：質問の意図を正確に捉え、誠実に回答しているか、批判的な指摘に対しても、建設的な反論ができています。 ⑤独自性(10点)：既存の知見を紹介するだけでなく、自分なりの考察や批判的検討が含まれている ディスカッションについて ①発言の質と論理性(10点)：根拠に基づく発言で批判的思考に基づいている ②積極性と主体性(10点)：自発的に発言の機会を作り、議論の輪に加わっている、事前準備を通して、自分なりの仮説や意見を持った上で討議に臨んでいる ③議論の推進と協働(10点)：論点の整理と方向づけ、批判だけでなく建設的な提案、参加者全員が納得できるような着地点を見出すための努力					
(10)学生へのメッセージ並びに質問、相談への対応	研究するうえで必要となる研究計画の基本的な考え方と方法を学びます。具体的に先行研究で示された文献を用いて実際に研究計画の立て方を学びます。 e-mail 五十嵐 higaras@shinshu-u.ac.jp					

【テキスト，教材，参考書】	適宜、提示
---------------	-------